



# YMCA News

## 2

2018年2月10日発行  
 特定非営利活動法人  
 盛岡YMCA  
 〒020-0015  
 盛岡市本町通3-1-1  
 Tel 019-623-1575  
 Fax 019-623-1579  
 www.moriokaymca.org  
 発行人/濱塚 有史  
 編集/本部事務局



### 「YMCAでの2年間」

盛岡大学短期大学部2年 渥美 百恵(ニョッキ)

私のYMCAは、高3の夏、オープンキャンパスに行ったときにYのチラシを見たのが始まりだ。入学してから1年間ほとんどの活動に行った。北上からの通いや短大の忙しさから、親や先生からは辞めた方がいいと言われていた。それでも本町サッカーもサンデースクールもアドベンチャーも宮古の活動もリーダーサッカーも全部が楽しくて大好きだった。

特に私が好きだったのは宮古の活動だ。大好きな先輩リーダーが宮古の活動に行っていたから始めた。宮古は毎月活動に参加する子やサッカーをしている子が多いため、ほぼ顔見知りなところが好きだ。用事があって活動に参加できなかったとき、「なんで今日ニョッキいないの?」と子どもが言っていたという話を聞いてすごく嬉しかったのを覚えている。そのときに毎月集まるメンバーに混ざれたんだなあと思った。今年の宮古のキャンプではメインを務めた。

初めての(※1)メインは、準備も協力もうまくできずにどうしていいか毎日不安だった。こんなメインだったから他のリーダーはもっと不安だったと思うのに一緒に頑張ってくれたことに感謝している。

スタッフ、リーダーの協力もあってキャンプは無事行うことができた。不安ばかりで失敗もあったけど、子ども達もリーダーも全力で関わっていたので、すごく楽しかった。もっと準備をしたり、確認を取りあえてたらもっと楽しく来年はできるなあと思った。「来年も一緒にキャンプしようね、絶対来るからね!」と子どもに言われて思い出した。今年で最後か。家に帰って泣いた。本当はみんなと一緒にあと2年活動を続けたかった。もっといろんな活動に行ってみたかった。来年も宮古の子達とキャンプをしたかった。2年間で、自分が思っていた以上に特別な場所になっていた。春から関東で保育士になる。自分の保育する子ども達も、元気で自由でつよい子に、いっぱい自分で考える子になってほしいなあ。Yの子ども達を見てそう思った。によっきのまま保育士になりたい。

2年間ありがとうございました。

(※1)チーフリーダーのこと



### 盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

# 1月日帰りスキー教室

## 「目指せ安比高原制覇！」

こんにちは、チーズです!私から、1月13日・14日に行われた日帰りスキー教室について報告させていただきます。今回は、一人でリフトに乗れ、一人でスキーができる!といった子どもたちと一緒に安比高原スキー場に行ってきました。二日間、天気にも恵まれ絶好のスキー日和でした。

一日目、バスの中ではお年玉の話から始まり、リーダーの名前の改名などしながら過ごしました。ちなみにしろくまリーダーは、「野獣」と命名されていました。なんともセンスのある名前です。スキーを早くしたくてたまらない子どもたちは、到着してからすぐにスキーへ。それぞれのグループに分かれてレッスンをしました。お昼ご飯はお腹がすぐ限界まで滑ることを決め、目いっぱい滑りました。ご飯をペロリとたいらげたら、すぐにグレンデへ出発。午後のスキー時間もそれぞれのグループで楽しみました。帰りのバスは楽しみにしているお菓子タイム。お菓子をもってきていなかった友だちに分けてあげる子どもたちの優しい一面も見ることができました。

また明日!とって解散をし、迎えた二日目。一人メンバーも増え、バスに乗ってクイズ大会や手遊びゲームをしてわいわい盛り上がりました。しかしこの日は午後にワッペンテストがあります。滑りもだんだんと慎重になり、少しでも上の級を目指すそうと頑張っていました。ワッペンテストでは、「がんばれー!」「いいね!」と応援の音がたくさん響いていました。二日間のスキーも終わり、帰りのバスでは疲れているだろう...と書いていたのですがそんなことはありませんでした。今からまたスキーをするのではないかと思うほど、一日目よりもとても元気でした。

到着してから、今度はさようなら!とって二日間のスキー教室を終えました。日帰りの二日間はあっという間に終わってとても充実した二日間でした。

一日目よりもうまくなったとか上手に滑れたよという声がたくさん聞こえてきてリーダーたちもとっても嬉しいです。二日間ありがとうございました。



## 「2日間で絶対リフトに乗れる！」

こんにちは、チーズです!1月20日、21日に行われた、初心者日帰りスキー教室の報告をさせていただきます。今回は初めて盛岡YMCAの活動に来てくれた子どもたちがたくさん来てくれました。

リーダーたちも、初めて会う子どもたちがたくさんいたのでとても楽しみにしていました。一日目は、朝は少し緊張して集まって来ました。バスの中でたくさんゲームをして遊び緊張が取れたようでした。

この二日間の目標は、「全員がリフトに乗る!」です。この目標に向かって二日間頑張りました。スキー靴を履くところから始まり、いよいよスキー。少しの斜面でも滑ってしまうので、みんなその場で止まることに一苦労でした。「リーダーのところに戻っておいで!」その掛け声とともに子どもたちも、「行くよ!」と大きな声で返し、滑り出します。コツをつかみ始めた子は早くも止まれるようになっていました。その日にスキーをしたばかりの子たちだったのですが、一日目から一人でリフトに乗れるようになっていました。

二日目は、朝からスキーをやる気満々。昨日の朝の緊張は嘘のようでした。スキー靴もだんだんと一人で履けるようになってきて準備が早くなっていました。

はやくも一日目から、リフトに乗れた子たちはもっと高いところへも行き一人で滑ることができました。午後には、全員がリフトに乗れるまでがんばりました。初めてだったので、転んでしまったり、止まれなかったりしている場面がたくさんありました。しかし、どの子もあきらめずに何度も滑っていました。

「できた!」とどぴっきりの笑顔で喜んでいる子どもたちを見ると、私は何倍もうれしくなります。この二日間は、スキー靴を履くところから始まった日帰りスキー教室でしたが、みんなががんばってくれたおかげで全員リフトに乗ることができ、初めてとは思えないほど上手になった子もたくさんいました。子どもたちにとって初めてで勇気のいる場面がたくさんあった二日間だったと思います。

挑戦することを恐れず向き合いたいと子どもたちに教わった二日間でした。ありがとうございました。

盛岡大学児童教育学科 三年  
小野寺 保乃香(チーズ)



## 1月アドベンチャー餅つき&雪遊び

みなさんこんにちは!1月アドベンチャークラブのメインを努めましたマックスです!今回のアドベンチャーは1月28日に国立岩手山青少年交流の家で子ども12人、スタッフ・リーダー9人で餅つきと雪遊びをしました。バスの中で楽しくゲームをして移動し、餅つきをする曲り家へ。途中、雪を見て我慢できずリーダーに雪をかけて遊ぶ子もいました。

曲り家に着き、エプロンと三角巾をしてレッツ餅つき!もち米をふかして杵で米を潰して餅つきをします。一つひとつの作業をグループで協力して楽しく行っていました。餅つきではリーダーと一つの杵を持ち、べったんこ♪とリズムに合わせて餅をついたり、好きな食べ物を一文字ずつ言いながら餅をついたり、グループで楽しく行いました。食べる準備も協力して行い、自分たちで作ったもちをいざ実食。少し粉が多かったのですがみんなで作ってみんなで食べるお餅はやっぱり美味しかったです。1人で何個も食べる男の子もいました。

ごちそうさまをして片付けるとお待ちかねの雪遊びです!施設の方からスノーチューブという浮き輪のようなそりの注意点を聞いて、スノーチューブに乗った子どもたちをリーダーが引っ張りスキー山へ行きました。遊びたくてうずうずしていた子どもたちは大はしゃぎでした。スノーチューブに乗った子どもたちはリーダーにくるくる回して押しもらったり、後ろ向きに滑ったりして楽しんでいました。時間になるとまたもやリーダーがそりを引っ張って移動しました。リーダーたちはヘトヘトでしたが子どもたちは最後まで元気に遊びました!

今回のアドベンチャークラブはグループで協力して餅つきをして食べ雪遊びでは全力で遊び、みんなの笑顔が溢れる活動となりました。



岩手大学教育学部 二年  
東 彩由海(マックス)



## 2017 冬休み盛南センター放浪記

盛岡 YMCA は、4つのセンターで学童保育事業を行っています。それぞれのセンターに通う子どもたちの交流を図ることが私たちの願いのひとつにありました。そしてこの冬、盛南センターの子どもたちが他のセンターを訪問することが実現しました。

### ～前潟センター編～

「こんにちは・・・。」

初めて会う大勢の子どもたちに、不安そうに挨拶して入ってきたぷらいむ・たいむ盛南校の子どもたち。

1月9日(火)ぷらいむ・たいむ前潟校に盛南校の子どもたちとスタッフが遊びに来ました！盛南校9名に対して、前潟校は28名。しかも初めての訪問。それは緊張もしますよね。しかもこの日の天気はあいにくの雨。。。近くの公園で元気いっぱい遊びたかったのですが、冷たい雨には勝てません。と、いうことで前潟センター全体を使ってグループ作業を行いました。1グループに盛南っ子・前潟っ子・スタッフがそれぞれ入っての共同作業。お題は「街をつくろう！」です。前潟センターにある小物や工作道具をふんだんに使って、楽しい街を完成させました。真剣に工作する女の子、ふざけあう男の子、同じ作業をする中で仲間意識も少しずつ芽生え始めました。

共同作業のあとはおやつタイム！前潟校特製の「七草がゆ」ならぬ「七草ぞうすい」をみんなでワイワイとおいしくいただきました。

今回の盛南校による前潟校の訪問はとても大事なことで考えます。同じ盛岡YMCAファミリーでいながら違うセンターとの交流は今までもこれからも多くはできません。いつもとは違うちょっとした刺激に子どもたちも楽しめたことと思います。

「また来てね～。」「じゃあね～。」

盛南校の子どもたちが帰る際に両校の子どもたちが笑顔で声をかけあっていて、別れを惜しむくらい仲良くなれていたことがとても印象的でした。

ぷらいむ・たいむ前潟校スタッフ 東森 聡

### ～本町センター編～

1月10日、盛南センターの子どもたちが本町センターの前でぞろぞろと車から降りてきました。どちらのセンターの子どもたちも見慣れない顔に緊張気味な様子でお互いのことをうかがっていました。これから何があるのか、子どもたちはソワソワしていました。

仁王小学校の校庭に移動し、最初のゲームは「自己紹介ゲーム」でした。お互いに自己紹介した人の人数を競い合う中で少し緊張がほぐれてきたようでした。次のゲームはグループ分けをして「そりレース」。盛南センターの子と本町センターの子が混ざったグループでの勝負です。子どもたちの勝負魂にも火が点きました。必死にそりを引っ張り、必死にそりにしがみつき、いつの間にかお互いに協力し合って戦っていました。そりのひもが切れてしまい、みんなでそりを担いで運ぶという荒業で危機を回避したグループもあり、とてもおもしろいレースとなりました。最後のゲームは「しっぽ取り」でした。子ども同士のコミュニケーションも増え、それぞれの役割に沿って校庭を駆け回っていました。1回戦目よりも2回戦目の方がグループの中でしっかりと作戦を立てられていて、とても熱い戦いが繰り広げられました。その後はフリータイムとなりました。それぞれ、野球をする子、遊具で遊ぶ子、鬼ごっこをする子など自由に遊びが展開されていきました。自然な流れで盛南センターの子と本町センターの子と一緒に遊ぶ様子も見られ有意義な交流の時間となりました。

また、この日は本町学童OBの高校生が遊びに来てくれて、これまた幅の広いつながりが生まれた時間となったことを嬉しく思いました。

ぷらいむ・たいむ本町校スタッフ 家村 知佳

### ～向中野センター編～

1月11日(木)、この日はぷらいむ・たいむ向中野校にとって初めての参加メンバー全員での歩きでのお出かけの日となりました！さらにこの日はぷらいむ・たいむ盛南校の子たちと合同!!!「盛南の子いつくるの!？」と待ちきれない子たちもちらほら。お待ちかねの盛南組が向中野校へ来ると、すでに玄関でスタンバイ済みの子たちも飛び出して外に出てきました。その後目的地の盛岡南地区公園へと歩いて向かったのですが、当日は両校合わせて90名の大所帯！大名行列の様になりながらも安全に十分気をつけながら公園への道のりを歩いて行きました。

公園についたら、後は思い切り遊ぶのみ!!ソリ滑りや野球、散策や帽子を決められた場所に入れたら点数が入るというバスケットボールの様な謎の遊び等様々な遊びの中、子どもたちで楽しさを作り出し遊んでいました。向中野校と盛南校の子どもたちが楽しそうに一緒に走り回ったり、遊んでいる場面もあり、今回合同で時間を共にして良かったなと感じております。何より子どもたちにとって今回の合同での活動が様々な意味で思い出となってきていたら幸いです。

盛岡YMCAには4つの学童があり、普段は交わることがほぼありませんが、色んな人・価値観に出会うという意味でも、今後も学童間交流の機会を積極的に作り出していきたく感じました。

ぷらいむ・たいむ向中野校スタッフ 小川 嘉文



## 『船』

悲しみ積んだ船は  
どこまで 行くのか  
波にもまれこの世に浮かぶ  
おいらは船だよ。  
帰ろう。十字架に  
救い主のもと  
船が港に休むように  
十字架に帰ろう

ゴスペルソング「Back To The Cross」の一節だ。映画「天使にラブソング」以来、ゴスペルというアカペラでエプロンみたいな服を着ながら大音量でコーラスするというイメージがあるが、僕が高校時代に感じたイメージはちょっと違っている。

僕はその頃、毎週のように教会に通っていた。キリスト教がどうこうというわけではない。教会に行くのが楽しい大学生や社会人のお兄さん、お姉さん(当時は青年会と言っていた。)たちがいて、その人たちと一緒に遊んだり、ちょっぴり背伸びしながら社会の問題について議論に加わったりするのがとても楽しかったのだ。また、その青年の人たちがギターを弾きながらゴスペルを歌うのをすごく格好よく感じていた。その時教えてもらった歌がこの歌だ。

さて、この歌とは別だが、その当時大ヒットした曲『異邦人』を歌っていた久保田早紀さんを先日テレビで拝見した。彼女は今ゴスペルシンガーとして、被災地や、各地の教会を回ってミニコンサートを開催している。

番組の中で久保田さんはこんなことを語っていた。

本当に苦しかった若い頃、教会の牧師に「人生って嵐のようなものだと思います。本当に大きな海の中で、きっと皆さんの中でも漕ぎ悩んでいる人もいるだろうし、行き詰まっている人もいます。だけど、それは全く自分一人で人生のボートを漕いでいるから、どっちに進んでいいのかわからないのがその理由だと思えます。あなたの人生に本当にあなたの人生を分かってくれて人生の目的地まで導いて下さるような人を、もしここに乗せることができるならば沖へ沖へと漕いでいくことができると思えます。」と言われました。

私は当時、漕ぎ悩んでいて転覆しそうな船にのっている人間でしたので、「これはやっぱり是非、自分の船に乗ってほしい。」そう思いました。

オウム真理教の事件以来、世間では宗教というと何か胡散臭い危険なイメージがつきまとっている。でも、逆にそのことで多くの人が漕ぎ悩んだままではいるのではないだろうか?キリスト教、仏教、イスラム教、神道等々長い歴史を通して精錬された教えの中で、本当に自分自身の心の奥の奥までわかってくれる存在に向き合うことは人間にとって、すごく大切なことだと思う。

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

## ネパールでしろくまも考えた③

### 「マオイスト」

私が訪れた頃のネパールは「ティハール」という祭りの時期でもあり、どこに行っても華やかなお祭りの雰囲気と人々の和やかな笑顔で溢れていた。しかし、ほんの10年程前までは「マオイスト」による反乱のせいで多くの人々が危険にさらされ、怯えながら生活していたのである。「マオイストに目の前の車が燃やされた」など、ガイドの方の話も私には現実味のなさすぎる話であった。しかし、そのようなことがネパールの至る所で実際に起こっていたのである。

さて、マオイストとはネパール共産党毛沢東主義派の通称で反政府組織である。王政の廃止と共和制の樹立という目標を掲げて、1996年からマオイストは武装闘争を開始した。そして、2006年までの間内戦が続いたのである。

マオイストについてはネパールへ行く前に本で少し勉強した。マオイストの兵士には若者、そして、女性も多いた。皆、現在の自分たちの苦しい生活を変えたいという強い意志を持っていた。しかし、夢や希望を持って戦っていた人たちが数多く殺されていったのである。もちろん、マオイストによって殺された人もたくさんいる。こんな悲しい事態になる前に、政治家たちが国民の生活の現状を理解し、動き出すことが出来ていれば反感など買わなかったのではないかと...。政治のことはよく知らないが、本当に国民のことを思って働く政治家はどれだけいるのだろうと不安になる。そして、不安に思っているのは私だけじゃないはず!ネパールも日本も、安心して暮らせる国になりますように...。と願うしろくまでした。

盛岡YMCA 家村 知佳(しろくまりーダー)

## 宮古活動報告

あけまして。髪の毛を20センチほどぼさざり切りましたキューピーです。2018年もかっ飛ばして頑張っていきますわっしょい!

さて、12月宮古アドベンチャーでは、クリスマスキャンドル作りを行いました!キャンドル作りを含め、プログラムなどを陸中海岸青少年の家で12月3日に行われました。クリスマスにちなんで、サンタクロースに扮したいわぞんの登場に始まった着プロでは、グループでの団結力が試されたりクリスマス心を待ちにする気持ちを高めることのできたプログラムでした!

キャンドル作りでは、個性豊かな砂の配色や、ロウとロウの間にさまざまな砂を入れたりして、どんな装飾をしているかほかの人に気を配ったり、じっくりと考える時間だったりするのがものづくりの楽しさに気づけた良い機会になったかな!と思いました。

キャンドル作り以外にも天気に恵まれ、フリータイムはみんな外でおにごっこをしたり、突然のバブリーブームが起きたり!各々が楽しいと感じることをしたフリータイムになりました!

私的にはサンタクロースとトナカイのコスチュームを着て走り回っていた姿がとてもたのしそうで、わたしも一緒にわくわくしていました。12月のアドベンチャーではたくさんの反省もでて、リーダー同士がさらに成長するために必要なこともみつきり高めあえた12月だったのではないかなと思ひ、次回2月アドベンチャーではそれを土台とし、もっともつよいものを作りたいたいとおもいます!頑張ります!

岩手大学2年  
小野史織(キューピー)



### 表紙の写真から



1月日帰りスキー教室での一枚。  
天気も良く、思いっきり安比を満喫しました!!